

九州森林・林業セミナー
自然の恵みと危機

生物多様性の保全と森林の役割



プログラム

- 講演 地球の生き物をなぜ守るのか
九州大学大学院理学研究院教授 矢原徹一
- 講演 里山や草地が担うもの～生態系サービスと生物多様性の保全～
大阪市立自然史博物館学芸員 佐久間大輔
- 報告 九州の森林、危機と対応
九州森林管理局計画部長 宮城勇朗

日時 平成22年 10月17日(日)
13:00～受付 13:30開会 16:00閉会

場所 レンガビル・熊本 (九州電通労働会館) 4階大ホール
熊本県熊本市本荘5丁目10-23 TEL 096-371-6200

主催 林野庁九州森林管理局

詳しくは裏面をご覧ください

国際生物多様性年記念

自然の恵みと危機

～ 生物多様性の保全と森林の役割 ～

私たち人類は、森林から私たちが生存していくために必要な酸素、水、食料、住宅資材、精神的な充足感等の様々な恵みを得て来ました。

これらは生態系、種、遺伝子といったそれぞれのレベルで生物が豊かに存在する「生物多様性」が維持されることにより得られる「生態系サービス」と呼ばれています。

「生物多様性」という言葉は一般的にはなじみの薄いものですが、実は地球温暖化と同様、私達の生活と深い関わりがあり、その維持には森林が重要な役割を果たしています。

九州森林管理局では「生物多様性」の価値や現状、人類の関わりや私たちが行うべきことなどのほか、里山など身近な森林を適切に保全・利用することにより維持される「生物多様性」について学識経験者によりご講演をいただくとともに九州国有林の「生物多様性」の豊かさやその保全への取組について報告を行い、多くの方々にこれらのことについて理解を深めていただくことを目的として第三回「九州森林・林業セミナー」を開催することとしました。

講演者の紹介（敬称略）

矢原徹一 九州大学大学院理学研究院 教授
前日本生態学会会長 理学博士

花の多様性の進化についての基礎研究と同時に九大伊都キャンパス、屋久島、中国太湖、カンボジア熱帯林などで、生物多様性保全の研究と実践に多くの時間を割いている。

昨年5月には繁殖生態学分野での学術的貢献やみどりの保全活動が評価され「みどりの学術賞」を受賞。

佐久間大輔 大阪市立自然史博物館 学芸員

1990年慶応義塾大学理工学部化学科卒業後、京都大学大学院理学研究科で外生菌根菌を中心とした植物と菌類の共生関係を研究。1996年から現職。里山について民俗学と生態学の両面から迫る研究も試みているほか丘陵地の生物群集の景観生態学的研究や二次林植物群集の研究にも取り組んでいる。

参加対象

一般市民、森林所有者、森林組合、林業事業者等森林・林業・木材産業関係者、大学・研究機関関係者、行政関係者等150名程度

参加費

無料

問い合わせ・参加申し込み

参加を希望される方はお名前、所属、連絡先を10月12日(火)までに下記担当までお知らせ下さい。

九州森林管理局 指導普及課 担当：岸川・石神

〒860-0081 熊本県熊本市京町本丁2番7号

tel 096-328-3624 fax 096-326-7062

E-Mail masahiro_kishikawa@rinya.maff.go.jp

九州森林・林業セミナー

九州森林管理局では、森林・林業・木材産業について森林・林業関係者のほか、広く一般の方々にも理解していただくため「九州森林・林業セミナー」を開催しています。

会場へのアクセス

会場：レンガヒル・熊本

熊本県熊本市本荘5丁目10-23

TEL 096-371-6200

・駐車場に限り(無料50台)がありますので出来るだけ公共交通機関でお越し下さい。(隣接して20台の有料駐車場もあります。)

